

第 121 期
事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日

ASAHI

旭精工株式会社

事 業 報 告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

この度の新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々およびご遺族の皆様方に謹んで哀悼の意を表すとともに、罹患されている方々が一日も早く回復されるよう、心よりお祈り申しあげます。

また、日夜最前線にて新型コロナウイルスの治療にあたられている医療従事者をはじめとする皆様に心から感謝と敬意の念を表します。

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

2020年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気減速から先行き不透明な状況が続くなか、政府の感染拡大防止と経済活動維持を両立させていく取組もあり、自動車、半導体等の製造業に持ち直しの動きが見られた一方、宿泊、運輸、飲食等の業界を中心に景気は大幅な落ち込みを強いられました。

また、世界経済も感染症の影響で経済活動が抑制される等厳しい状況にあり、中国や米国は景気の持ち直しが見られましたが、EU、南米諸国等は感染拡大の加速に加え、雇用や所得環境の悪化により、依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループは全従業員が「当たり前のことを当たり前にする」をモットーに、常に緊張感と健全なる危機感を持って部内間、部門間の連携を強化し、お客様目線に立ってスピード感を持って業務に取り組んでまいりました。

しかしながら、当期連結売上高は95億21百万円(前期比11.7%の減収)となり、また、当期の単体売上高は64億64百万円(前期比16.6%の減収)となりました。

製品別売上高では、主力商品でありますインサート軸受ユニットが72億59百万円(前期比11.8%の減収)、クラッチブレーキ、直線運動機器をはじめとする機械器具部品等は22億61百万円(前期比11.6%の減収)となり、売上高に占める構成比率はインサート軸受ユニットが76.2%(前期76.3%)、機械器具部品等は23.8%(前期23.7%)となりました。利益においては、製造部門の原価低減、全部門での徹底した経費削減に努めてまいりましたが、売上高減少の影響により連結経常利益は9億15百万円(前期9億66百万円)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は5億89百万円(前期6億12百万円)となりました。

(2) 今後の見通し（対処すべき課題）

今後の見通しとしましては、世界各国で新型コロナウイルス感染症が再拡大し、欧州等を中心に景気の先行き不透明感が強まっています。また、バイデン政権下の米国と中国の貿易摩擦の動向をはじめ、政治、経済面の不安要素が多く、今後も予断を許さない状況が続くものと思われます。日本経済についても輸出等の増加は見られるものの年度初めには大阪、東京等に3度目の緊急事態宣言が発出される等景気回復が大きくずれ込む懸念は拭えません。景気の持ち直しが明確化するのにはワクチンの普及が進み「集団免疫達成」が実現されて以降になると思われま

す。このような状況下、当社グループとしましては、まず全従業員がコロナ感染予防対策を引き続き徹底して確実に実行し心身ともに健康を維持し、昨年度のコットーのうえに更に「品質は一番のセールスマン」、「一步前進から二歩前進にギアチェンジ」の意識を常に持ち製造、販売、管理部門が一体となって業務に邁進してまいります。全部門がそれぞれの政策、行動計画を強力に推し進めることにより長期目標『100年企業』達成に努めてまいります。

どうか昨年度と変わらぬ皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(3) 設備投資および資金調達の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資は、生産設備の合理化のためのものであり、投資総額1億88百万円は、自己資金とリース契約で賄いました。

(4) 財産および損益の状況の推移

区 分	第 118 期 (平29. 4. 1 から 平30. 3. 31 まで)	第 119 期 (平30. 4. 1 から 平31. 3. 31 まで)	第 120 期 (平31. 4. 1 から 令 2. 3. 31 まで)	第121期(当期) (令 2. 4. 1 から 令 3. 3. 31 まで)
売 上 高	10,782百万円	11,109百万円	10,789百万円	9,521百万円
経 常 利 益	1,246百万円	1,013百万円	966百万円	915百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	872百万円	694百万円	612百万円	589百万円
1株当たり当期純利益	146円76銭	116円81銭	103円06銭	99円19銭
総 資 産	11,337百万円	11,831百万円	12,090百万円	12,358百万円
純 資 産	7,444百万円	8,007百万円	8,544百万円	8,998百万円

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) 子会社の状況

① 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の出資比率	主 要 な 事 業 内 容
AMI BEARINGS, INC.	720千ドル	100%	軸受ユニットおよびその部品の販売
三興商事株式会社	15百万円	100%	ベアリングおよび精機部品の販売

② 企業結合の成果

当期の連結売上高は95億21百万円となり前期と比べて12億67百万円の減収となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は5億89百万円となり前期と比べ23百万円の減益となりました。

(6) 主要な事業内容 (令和3年3月31日現在)

当社の企業集団の事業は主に、インサート軸受ユニット、クラッチブレーキ、直線運動機器関連およびその他伝導部品等の製造販売を行っており、さらに各事業に関する研究・開発およびその他のサービスの事業活動を展開しております。

連結貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	12,358,235	負 債 の 部	3,359,989
流 動 資 産	8,125,832	流 動 負 債	2,874,153
現金および預金	2,972,131	支払手形	178,655
受取手形および売掛金	1,578,308	買掛金	523,960
電子記録債権	203,756	短期借入金	1,587,428
棚卸資産	3,346,998	未払金	76,010
その他	60,658	未払費用	178,945
貸倒引当金	△36,019	未払法人税等	54,089
固 定 資 産	4,232,402	賞与引当金	148,276
有 形 固 定 資 産	2,744,258	リース債務	62,074
建物および構築物	533,476	その他	64,713
機械装置および運搬具	407,534	固 定 負 債	485,836
土地	1,428,847	長期借入金	110,142
建設仮勘定	55,126	退職給付に係る負債	143,283
リース資産	240,416	未払金(役員退職金)	7,848
その他	78,857	預り保証金	7,199
無 形 固 定 資 産	114,395	リース債務	208,404
電話加入権	3,938	資産除去債務	8,958
ソフトウェア	3,569	純 資 産 の 部	8,998,245
のれん	106,887	株 主 資 本	9,049,827
投 資 そ の 他 の 資 産	1,373,747	資本金	660,000
投資有価証券	1,014,930	資本剰余金	557,792
保証金	35,300	利益剰余金	7,849,330
繰延税金資産	226,415	自己株式	△17,295
その他	97,101	その他の包括利益累計額	△51,581
		その他有価証券評価差額金	42,284
		為替換算調整勘定	△93,866
資 産 合 計	12,358,235	負債および純資産合計	12,358,235

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		9,521,772
売上原価		5,919,672
売上総利益		3,602,100
販売費および一般管理費		2,706,265
営業利益		895,834
営業外収益		
受取利息および配当金	17,369	
持分法による投資利益	28,434	
その他	28,673	74,476
営業外費用		
支払利息	21,798	
売上割引	29,411	
その他	3,427	54,637
経常利益		915,674
特別利益		
固定資産売却益	1,594	1,594
特別損失		
棚卸資産廃棄損	5,767	
固定資産廃棄損	219	
投資有価証券売却損	159	6,146
税金等調整前当期純利益		911,123
法人税・住民税および事業税		229,139
法人税等調整額		92,304
当期純利益		589,678
親会社株主に帰属する当期純利益		589,678

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。